

最大のテーマ：遺伝資源へのアクセスと利益配分問題

<1> 生物多様性条約第15条、ボン・ガイドラインの規定

- ・**遺伝資源の原産国主権**の承認
- ・その利用から生ずる**利益の公正・衡平な配分**
遺伝資源の取得時の原産国の事前同意や契約の締結

<2> これまでの議論

- ・**途上国**は、利益配分の仕組みに**法的拘束力**が必要と主張
LMMC(17ヶ国)、G77+中国(132ヶ国)、NGO
- ・**先進国**は、長期間の基礎研究や投資という負担とリスク、知的財産権を尊重すべき、ボンガイドラインの遵守により適正な利益配分が担保されると主張
JUSCANZグループ(8ヶ国)、EU、産業界

<3> 2008年5月：第9回締約国会議(ボン)

- ・**COP10までのロードマップ**を採択
作業部会、専門家会合を各3回、地域内・地域間会合を開催
- ・2010年10月：第10回締約国会議(愛知・名古屋)で成案？



COP9総会(190ヶ国・地域が参加)



国際市長会議(64都市・国際機関153人が参加)



閣僚級会合(首相3名、大臣101名)



サイドイベント(分科会:里山)



プラザ・オブ・ダイバーシティでのパフォーマンス



国際機関、各国政府、NGOなど約200のブースが出展



ブース展示場(バイオミクリーの商品紹介)



NGOのブース

COP10は、地域の情報発信・アピールのチャンス



地域の取組の交流・発信



企業の技術紹介



地域のうまいもの



おもてなし・サービス提供



開催地決定直後の
記者会見(ボン)



開催決定時のセレモニー(名古屋)



COP10 あいち・なごや開催計画

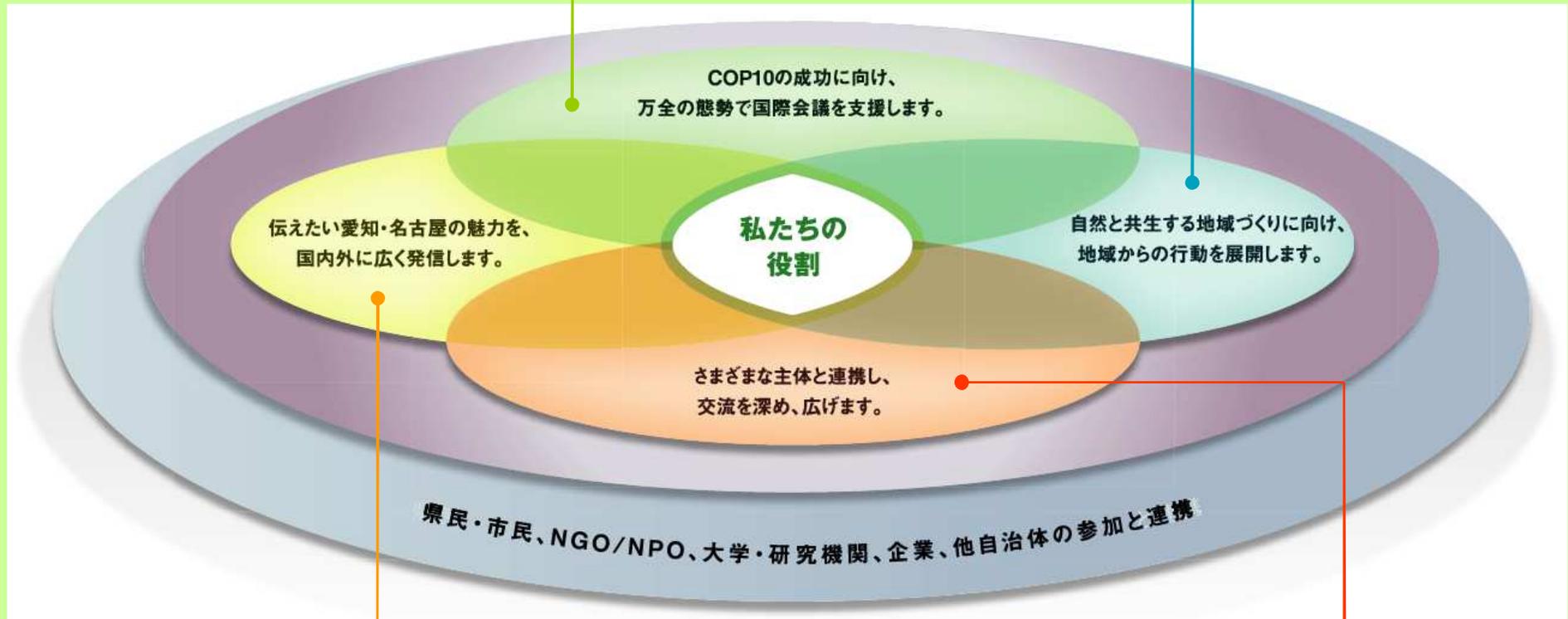
COP10支援実行委員会

平成21年3月策定

地元の役割

1 会議支援

3 地域からの行動



2 愛知・名古屋の魅力発信

4 連携・交流

連携交流の3会場

白鳥地区

生物多様性のために“集う”場

生物多様性をテーマとした国際的な
発表・交流展示会

会議会場(一般の立入制限)



白鳥地区会場

愛・地球博記念公園

生物多様性を体感し、“行動”する場

県民・市民、NGO/NPO等の交流・体験
の場

- 里山に関する
展示発表
- 山・海の幸の
食の祭典
- ナチュラスロン



栄地区(栄オアシス21)

生物多様性とCOP10を“発信”する場

COP10・
生物多様性の
情報ステーション



2010年展開イメージ

COP本体会議

名古屋国際会議場

<生物多様性条約第10回締約国会議>

10/11 ~ 10/15	10/18 ~ 10/29
---------------	---------------

COP-MOP5
(カルタヘナ議定書会合)

- ・全体会議
- ・作業部会

COP10
(生物多様性条約締約国会議)

- ・全体会議
- ・作業部会

10/27~29
閣僚級会合

サイドイベント

・遺伝子組換え作物等に関する発表・報告会議

サイドイベント

・里山、干潟、侵略的外来生物、気候変動等に関する発表・報告会議

発表・交流事業

栄地区(オアシス21)

COP10情報発信基地として、
市民・県民が、にぎわう場

愛・地球博記念公園

NGO、地元サークル、市町村、
企業などが、体感し、
活動を発表・交流する場

白鳥地区

国際機関、各国政府、国内公
的機関、国際NGOなどが、
生物多様性のために“集う”場

関連する会議・取組

- 生物多様性国際自治体会議
- 企業の取組
- 学術の取組
- NGO/NPOの取組
- 子ども・ユース環境会議

※メッセナゴヤ(環境技術展)

2010年は国際生物多様性年(国際連合生物多様性事務局)のシンボルマーク



Biodiversity is Life. Biodiversity is our Life.
生物多様性 それは命、生物多様性 それは私たちの暮らし

COP10日本国政府のシンボルマーク



Life in harmony. Into the future.
いのちの共生を、未来へ

COP10支援実行委員会のシンボルマーク



Spreading Seed
広がりゆく種



COP09
COP10
COP11



第10回生物多様性条約締約国会議

あいち・なごやで開催

2010年10月11日～29日(3週間)

開催場所: 本会議 **名古屋市白鳥国際会議場**

共催場所: **モリコロパーク、オアシス21、白鳥庭園** 等

参加国数: 191カ国・地域

参加者 : 政府関係者、NGO/NPO、企業、
地方自治体、子ども/青年、学術等

参加者数: 約7,000～10,000人

